



四柱推命による いじめ診断

大橋のぞみ 1999/05/09

いじめをする方？ それともされる方？

好奇心型

この子は、通常ではアイデアが豊富で、面白い人気者のタイプですので、いじめをする方には参加しません。もしいじめの方になったとしても、集団を作ってという能力はありません。あくまでも1人で陰湿にやります。しかし思いこんでしまったら、妄想的になってしまい、周囲が驚くような発想や行動を平気で行う場合があるので、注意が必要なのです。神戸の須磨区でおきた事件の少年もこのタイプなのです。善悪の感覚が麻痺するようなTVやビデオ、ゲームなどは極力させないことです。

いじめ・・・家庭環境が原因

イジメは、ストレスの発散の結果おこるものです。大人でも子供でもストレスを発散させないと生きていけないのは同じです。子供のストレスの原因のNo1が家庭です。言い換えれば家庭が楽しくないのです。

家庭が楽しくない原因としては、以下の通りです。

- (1)夫婦の仲が悪く、夫婦のケンカが多いので、子供がストレスを溜めている。
- (2)親との触れ合いが少ない。共稼ぎで、子供と十分に触れ合う時間がない。特に乳幼児の期間のスキンシップ不足は大人になってもストレスはひきずります。
- (3)自分を認めてくれる人がいない・・・劣等感が強く、自分は誰からも必要とされてないと感じる時、子供は自己の存在を示すためイジメをすることがあります。動物をいじめたりする場合があります。

いじめ・・・夫婦関係が原因

(1)母親は父親のいない時にどう子供に接するか？が重要です。父親を絶対的に支えていくという心情。父親は社会のため、日本のために働いているという父親の公的存在を意識させるような誉め方をすること。父親のいない時の、母親と子供の間で話した父親の印象は深く子供の心に残るものです。

(2)父親は母親のいない時にどう子供に接するか？が次に重要です。母親を絶対的に信じて愛しているということを聞かせる。母親は全ての愛情を家庭に捧げているという愛の基であることを意識させるような誉め方をすること。母親のいない時の、父親と子供の間で話した母親の印象は深く子供の心に残るものです。

大人同士の人間関係

(1)子供の母親同士が仲が良いとイジメは起こらないのです。子供同士の関係が変だと思ったら、まず親同士と一緒に食事するなど関係を深めること。

(2)学校の先生と親が仲が良いと学級崩壊は起こらない。学校の先生の20%が精神疾患で病んでいる時代です。不安一杯で、力づくでクラスを押さえようとしたり、逆にまとめることを放棄する先生もいます。でもあまりにひどい場合は、クラスを持たせてもらえない先生も多いのです。クラスを持たせてもらえる先生は、それだけの能力があると信じ、率先して先生との会話や話し合いを持つようにしましょう。